

社会人基礎力養成演習Ⅰ

科目ナンバリング CAE-208
選択 2単位

森 吉弘

1. 授業の概要(ねらい)

社会への第一歩を踏み出したい(現時点では「自分の希望する企業(職種)に就職したい」かな?)。踏み出し方やその方法さえわからない。ましてや、希望する仕事もわからない。既存の就職マニュアルにはない「実践的なプログラム」で、就職戦線に必要な社会人基礎力を養います。また、ワークショップ(グループ学習)で、新たな自分を発見でき、プレゼン力や作文力、さらに会話力も身につきます。この講義に関わるひとりひとりが、自分自身で考え、学び、気づき、創造することができるよう促します。

*受講希望者が多数の場合、最初の授業でレポートを書いてもらい、選抜もあることは承知していただきたいと思います。

【関連科目】

総合講義Ⅰ・Ⅱ(社会人基礎力養成)
新聞の読み方・使い方Ⅰ・Ⅱ

2. 授業の到達目標

- ①社会で活躍するための基礎力が身につきます
- ②新たな視点に気づきます
- ③就活に必要な書く力や考える力が身につきます
- ④自己の特性が理解できます

3. 成績評価の方法および基準

- (1)授業に取り組む姿勢 20%
- (2)授業内外の課題レポート 60%
- (3)グループワークへの貢献度 20%

4. 教科書・参考文献

教科書

森吉弘著 『アジアの若者が日本企業に就職するための「思考とスキル」』 ウイネット

5. 準備学修の内容

以下のような事前学習課題を課します。日々の学習を怠ると、講義の内容を深めることはできませんし、成果を上げることが難しくなります。

- ・教科書や講義に関連した書籍の読み込み
- ・全国紙(読朝毎、日経、産経、東京)のいずれか1紙を毎日10分以上読むこと(読み慣れたら時間を伸ばしていく)
- ・授業内容の復習はもちろんのこと、学んだことを日々意識して行動(思考も)すること

6. その他履修上の注意事項

就職活動や社会人になってからも役立つ教養やスキル、習慣を身につけてもらいたいと考えています。グループワークもあるので、主体的に取り組む学生を望みます。また、授業を効率的に進めるため学生の協力も得ることが多々あります。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
1)「就職できる人・できない人」は何が違うのか
2)身につけなければならない力とは何か
3)講師自己紹介、講義内容の解説
- 【第2回】 就職活動の変化(激変)と、就職活動の進め方(戦略も含めて)
1)AI時代に備えることは何か
2)早期化する就活(通年採用)について
- 【第3回】 社会人基礎力の理解と、社会(会社)で求められる力
1)3つの大きな力と12の力とは
2)時代に即した力とは
- 【第4回】 グローバル化に生きる
1)アジアの現状とは
2)数字にみる日本の位置とは
- 【第5回】 企業が求める「コミュニケーション力」①
1)AI時代になぜ必要とされるのか
2)コミュニケーションの歴史と目的
- 【第6回】 企業が求める「コミュニケーション力」②
1)コミュニケーション力の高い人とは
2)コミュニケーション力を高めるためには
- 【第7回】 解釈力を高める①
1)東京大学の二次試験にみる解釈力とは
2)解釈力とは物事を複眼的かつ本質的にみること
- 【第8回】 解釈力を高める②
1)物事の解釈力は、できる人・できない人の大きな分かれ目となる
2)物事の見方と捉え方
- 【第9回】 ロジカルシンキングの基礎①
1)ロジックツリーとは
- 【第10回】 ロジカルシンキングの基礎②
1)発散と収束とは
2)MECEとは

- 【第11回】 自分の性格を分析する①
 - 1) 類人猿法分類とは
 - 2) 類人猿法を活用する(個人ワーク)
- 【第12回】 自分の性格を分類する②
 - 1) 9つの性格分類とは
 - 2) 自分を知る(個人ワーク)
- 【第13回】 性格(性格スキル)は、認知スキル同様伸びる
 - 1) 性格スキルとは
 - 2) 一番伸びる資質とは
- 【第14回】 自分の価値観を知る
 - 1) 価値観とは
 - 2) 自分の価値観を再考する(個人ワーク)
- 【第15回】 前期の講義の理解を振り返る